

重点施策	3 地域におけるスポーツの担い手による連携・協力の推進
目標像	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して、地域住民、学校、競技団体、地元プロスポーツなど多様な主体が連携・協力し、地域における交流が図られている。 ・地域において、誰もが気軽にスポーツに参加できる環境が整備され、スポーツを通じて、人のつながりの希薄化など地域社会の課題解決にスポーツが貢献している。

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ団体には、公益財団法人旭川市スポーツ協会や同協会に加盟する団体をはじめ、各種目の推進に取り組む競技団体、クラブ、少年団のほか、地域に根差したスポーツクラブなどがあり、それぞれ様々な活動が行われている。 ・少子高齢化が進む中、スポーツを通じた仲間づくりや相互の交流など、地域づくりやまちづくりの観点からもスポーツ団体の役割は重要となっている。 ・旭川市スポーツ協会は、市内のスポーツ団体を総括し、各種スポーツ推進のための事業を行う団体であり、更なる活動の充実が求められている。 ・スポーツ基本法に基づき市非常勤特別職の公務員として委嘱され、活動を行っているスポーツ推進委員については、自主的に新たなスポーツ大会やイベントを企画・運営しているほか、御当地体操である「Asahikawa Zoo体操」に続き、新たに「ちびっこZoo体操」を製作するなど積極的な活動が展開されている。 ・スポーツ少年団は、市内に61団体と数多くあるが、少子化に伴い団員数は減少傾向にあるほか、指導者の確保も難しくなってきた。 ・総合型地域スポーツクラブは、上川ネット構成団体では市内に4クラブあり、それぞれ特色のある活動を展開しているが、新たなクラブの設立がなかなか進まず、総合型地域スポーツクラブの活動範囲外となっている地域がある。 ・学校部活動において、教員による指導が大きな業務負担となっており、国においては、令和5年度以降、段階的に休日の部活動の運営主体を学校から地域に移行していく方針が示されており、自治体としての対応が必要になっているが、具体的な方向性や財源などが不透明である。
-------	---

指標	1	スポーツクラブ・団体の加入状況(意識調査)
	2	スポーツに関するボランティアの参加状況(意識調査)
	3	

番号	施策の柱	内容	展開施策	取組内容	国の第3期スポーツ基本計画	備考
施策	・スポーツの担い手による自主的な活動の推進	子どもから高齢者までの幅広い世代がスポーツに参加することは、地域社会全体の一体感や活力を醸成するだけでなく、人間関係の希薄化等の課題解決に寄与することから、スポーツを切り口とした地域交流の推進に向け、様々なスポーツ活動の担い手による自主的な活動の推進を図る。	①旭川市スポーツ協会の活動充実	・本市のスポーツ推進の中核的な役割を果たし、各スポーツ団体との連携や市民のスポーツ活動を活性化していくため、各種取組や情報発信・相談業務などの更なる充実を働きかける。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑤スポーツによる健康増進 ⑥スポーツの成長産業化 ⑦スポーツによる地域創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材 ⑪スポーツを実施する者の安全・安心の確保	・スポーツ関係団体の情報共有・意見交換を活性化に向けた環境の整備
			②スポーツ推進委員の活動促進	・スポーツ推進委員については、幅広い年齢層の起用や各種研修などを通じて、地域スポーツにおけるコーディネーターとしての役割拡大やスポーツ推進委員会の組織強化を図る。 ・推進委員の活動範囲の拡大や生涯スポーツ普及などの自主事業の充実に向け、市との連携により活動を一層活性化するとともに、推進委員の認知度を高めるため、活動内容について幅広く周知する。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑤スポーツによる健康増進 ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・生涯スポーツの指導者不足解消及び生涯スポーツの普及に向けた取組 ・スポーツ推進委員の活動の更なる推進及び情報発信の強化
			③スポーツ少年団の活動促進	・主に児童のスポーツ活動の場であるスポーツ少年団の活動内容についての周知を図り、団員や担い手の確保につなげるため、旭川市スポーツ少年団の事務局である旭川市スポーツ協会と連携し、情報発信の強化や少年団活動の更なる活性化を促進する。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・スポーツ少年団の団員数の減少及び情報発信不足の解消に向けた取組
			④総合型地域スポーツクラブの活動促進	・市民の多様なニーズに応え、地域の課題解決に貢献するスポーツ環境を整備するため、参加者や担い手の確保など総合型地域スポーツクラブの運営体制の強化及びクラブ設立を支援するとともに、活動についての認知度を高めるため、市民への情報発信を強化する。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑦スポーツによる地方創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・市内にモデルとなる総合型地域スポーツクラブ数の増、活動推進に向けた取組
			⑤スポーツにおけるボランティア活動の促進	・スポーツを支える担い手の確保を進めるため、スポーツ協会が取り組むスポーツボランティアのPRを行うとともに、競技団体の主催する大会や部活動等におけるボランティアの活用について検討を行うなど、ボランティア活動の促進を図る。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・スポーツにおけるボランティア活動の促進ための取組
6	・学校や地域などにおけるスポーツ活動の推進(学校体育以外)	少年団や学校部活動は、児童や生徒にとって重要なスポーツの場であることから、学校や各団体、地域が連携して児童や生徒がスポーツに親しめる環境づくりを進める。	①地域で支える学校部活動の推進	・総合型地域スポーツクラブや競技団体など、地域において部活動の担い手を確保し、学校への指導者派遣や活動支援など新たな連携体制を構築する。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑦スポーツによる地方創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・学校部活動を総合型地域スポーツクラブや競技団体など、地域が支える組織体制の構築
			②地域における子どものスポーツ活動の推進	・児童や生徒が身近な地域において、多様なスポーツ活動に親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブや少年団、学校などが連携・協力を推進する。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑦スポーツによる地方創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・スポーツ少年団の団員数の減少及び情報発信不足の解消に向けた取組
7	・スポーツ団体等の連携強化	少子高齢社会において地域スポーツの推進を図るためには、スポーツ団体及び市などの関係者の連携強化が重要であることから、スポーツ団体や市などによる情報共有・意見交換の場づくりを進める。	①情報共有・意見交換の場づくりの推進	・地域におけるスポーツ活動を担う、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、競技団体等の情報共有・意見交換の場づくりを進め、関係団体の連携・協力を推進する。	①多様な主体におけるスポーツの機会創出 ⑦スポーツによる地方創生、まちづくり ⑩スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材	・スポーツ関係団体の情報共有・意見交換を活性化に向けた環境の整備